

# 三原市長期総合計画基本構想(案) 概要版

第1章 長期総合計画の概要	
1 長期総合計画策定の背景と目的	<p>…令和32(2050)年のまちの将来像である“めざすべきまちの姿”を市民と共有し、未来のあるべき姿から今すべきことに想いを巡らす</p> <p>…将来の三原市での充実した生活がイメージできる指針とする</p>
2 長期総合計画の構成と期間	<p>(1) 基本構想 …令和7(2025)年度から令和32(2050)年度まで 26年間</p> <p>(2) 基本計画 …令和7(2025)年度から令和16(2034)年度まで 10年間</p>
第2章 三原市の現況	
1 三原市の状況	<p>…沿革、地理的特性、人口、経済・産業・暮らし、財政の状況を示す</p>
2 現行長期総合計画の総括	<p>(1) 「令和7(2025)年時点で、人口9万人を維持する」の状況 …令和4(2022)年2月に9万人を割る。要因は若い世代の流出、出生数の減少などが挙げられる</p> <p>(2) 「令和7(2025)年の市民満足度を85%以上に上昇させる」の状況 …「住み続けたい」と感じる市民の割合は上昇傾向であるが、若い世代の数値が低い</p> <p>(3) めざすまちの方向に対する取組についての振り返り …これまでの取組は差し迫った課題に対するアクションの側面が大きかったため、これからは“めざすべきまちの姿”をイメージした上での施策の立案が必要</p>
3 市民の想い	<p>(1) 活力あるまち、安心して暮らせるまちへの期待 …7割が「幸福」と感じている。一方で、「幸せでない」と感じる市民の理由として「自身や家族の健康に不安を感じる」「若い人が住み続けたいと思える活気がない」が多く挙げられている</p> <p>…住みやすさを感じる場所は「住み慣れている」が多い。一方で、「住みにくさ」を感じる理由として「娯楽が少ない」「公共交通機関が不便」が多く挙げられている</p> <p>(2) 将来の三原市のイメージ、大切にしたいこと …アンケート結果では「支え合い」が最も多く挙がり、人口減少などの状況を鑑みても、重要なキーワードである</p>

第3章 令和32(2050)年に向けて				
1 令和32(2050)年の将来予想		2 令和32(2050)年を見据えた三原市の重要課題		
(1) 時代の動向	ア 人口	<p>令和32(2050)年の三原市の人口は5万人台と推計され、年少人口、生産年齢人口の割合は減少、老年人口の割合は増加している（地域ごと同様）</p>	<p>(1) 人口に関する重要課題</p> <p>「人口」と各分野の重要課題は密接に関連</p>	
	イ 技術革新	<p>労働力や担い手の減少が懸念される人口減少社会においては、積極的にテクノロジーを活用していく必要がある</p>		
	ウ 持続可能性	<p>SDGsは、市民、事業者、団体、行政など、三原市に関わる全ての人の行動の指針としていく</p> <p>重要課題や将来像を検討する際に必要な手法と視点</p>		
(2) 三原市の令和32(2050)年の将来予想と市民が思い描く理想のまち	ア 子育て・教育	<p>将来予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分娩を取り扱う医療機関の維持に不安がある</li> <li>少子化により、保育所や幼稚園、認定こども園、学校の小規模化や施設の減少が進んでいる</li> </ul> <p>市民が思い描く理想のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安心して子どもを産み育てられている</li> <li>学びたいことを自由に学ぶ場があり、子どもの頃から将来の自分の姿をイメージできている</li> </ul>	ア 子育て・教育	<p>◎子育て・教育環境の変化に対応する</p> <p>…希望する人数の子どもを安心して産み育てる望みを叶えるために、市内の分娩機能の維持や、子どもを産み育てることへのためらいを払拭する支援が必要</p> <p>…どのような環境であっても、全ての子どもたちが健やかに育つために、子どもの育ちと学びを支える保育と教育の質の向上が必要</p>
	イ 健康・福祉	<p>将来予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康寿命は延伸していく</li> <li>老年人口は減少するが、高齢化率は上昇している</li> </ul> <p>市民が思い描く理想のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯やりたいことができる健康状態を維持できている</li> <li>住み慣れた地域で医療や介護などの支援を受けられている</li> </ul>	イ 健康・福祉	<p>◎市民の健康を維持しつつ、医療・介護・福祉サービスの提供を保つ</p> <p>…市民が主体的に健康を維持する意識を持つために、健康を後押しできる環境づくりが必要</p> <p>…安全・安心に住み続けられるために、医療提供体制の維持や、医療・介護・福祉が連携した地域包括ケアネットワークの深化、それらを担う人材確保が必要</p>
	ウ 産業・就業	<p>将来予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きな動きがない限り、産業構造に大きな変化はない</li> <li>市内企業のデジタル技術の活用は遅れている</li> </ul> <p>市民が思い描く理想のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働く選択肢(業種)が増えている</li> <li>デジタル技術などが活用され、活発な産業活動が展開されている</li> </ul>	ウ 産業・就業	<p>◎多様な産業が育つ風土をつくる</p> <p>…若い世代や多様な人材に選ばれるために、多様な産業が必要</p> <p>…同じく若い世代や多様な人材に選ばれるために、デジタル技術の活用などによる働きやすい職場環境の整備が必要</p>
	エ 交通(移動手段)	<p>将来予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化の進行により、移動に対する公的支援の需要が高まっている</li> <li>自動運転の技術革新が期待される</li> </ul> <p>市民が思い描く理想のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>効率性・利便性の高い地域公共交通のネットワークが構築されている</li> <li>自動運転やライドシェアが普及している</li> </ul>	エ 交通(移動手段)	<p>◎持続可能な地域公共交通を構築する</p> <p>…将来的な地域公共交通の持続のために、現段階から地域での利用促進が必要</p> <p>…自動運転などの技術革新をいち早く取り入れるために、様々な実証を重ねていくことが必要</p>
	オ 社会インフラ	<p>将来予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した橋や下水道設備などが増加し、更新費用の増大が予想される</li> </ul> <p>市民が思い描く理想のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活を支える社会インフラが適切に整備・管理されている</li> <li>土地や公共施設が積極的に活用されている</li> </ul>	オ 社会インフラ	<p>◎選択と集中を実行する</p> <p>…人口減少により財源が不足する中、本当に必要な社会インフラを安全かつ快適に使用できるようにするために、マネジメントが必要</p>
	カ 環境	<p>将来予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素の取組が進まなければ、地球温暖化が進行している</li> <li>地球環境に配慮した慣習や行動の変容が進んでいる</li> </ul> <p>市民が思い描く理想のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみが落ちていなく、緑が維持されている</li> <li>まち全体で自然環境の保全に取り組んでいる</li> </ul>	カ 環境	<p>◎一人ひとりの行動をまち全体の取組に発展させる</p> <p>…環境への取組の成果を市民が実感できるようにするために、まち全体での取組として、目標などを設定していくことが必要</p>
	キ 防災・減災	<p>将来予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短時間強雨の発生回数が増加している</li> <li>南海トラフを震源とする巨大地震の発生が予想される</li> </ul> <p>市民が思い描く理想のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に適切な行動をとり、助け合うコミュニティができていく</li> <li>道路や避難所などのインフラ施設が適切に維持されている</li> </ul>	キ 防災・減災	<p>◎「命を守る」自覚を高める</p> <p>…激甚化・頻発化する災害に対し、道路や避難所などの適切な整備とともに、「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識をより一層高めていくことが必要</p>

第4章 基本構想	
1 令和32(2050)年の“めざすべきまちの姿”(将来像と基本目標)	2 “めざすべきまちの姿”の実現に向けて
<p>(1) <b>ともに支え合い、ともに堅め合えるまち</b></p> <p>…人口減少や少子高齢化、価値観の多様化などを鑑み、これまでの仕組みやサービスでは対応しきれない課題が増加することから、支え合い、理解し合いながら様々な課題に向き合っていく</p> <p>[人口 時代の動向] [市民の想い] の内容から整理</p>	<p>(1) <b>基本姿勢</b></p> <p>…“めざすべきまちの姿”に着実に進んでいくための行政の役割として、社会の仕組みの変容や、情報発信、テクノロジーの導入、SDGsなどの世界基準への適合などへの取組を通じて、市民の幸福感を最大化していくことを示す</p> <p>…行政だけでなく、市民や事業者、団体など、三原市に関わる全ての人が、主体的にまちの課題に向き合うことを示す</p>
<p>(2) <b>三原で生まれ、育ち、学んで良かったと思えるまち</b></p> <p>…希望する人々が三原で子どもを産み育て、生まれきた子どもたちが健やかに育ち、三原で学び、成長し続けることに向け、妊娠から出産・子育てに関する支援を大切に、学びと活躍の場を持続させる</p> <p>[人口 重要課題] [子育て・教育 重要課題] の内容から整理</p>	<p>(2) <b>キャッチフレーズ</b></p> <p><b>すごいぞ三原!!</b></p> <p>…令和32(2050)年の将来像の実現に向けた様々な取組が、それぞれにたくさんの「三原は●●がすごい」という誇りや想いにつながるごとに、市民、事業者、団体、行政など、三原市に関わる全ての人がより一層に協働し、多様性を認め合い、オール三原で未来に自慢できるまちの実現に向けて取り組んでいく</p>
<p>(3) <b>社会に調和し、安全・安心・快適に暮らせるまち</b></p> <p>…住み慣れたまちで健康に住み続けるために、その根幹となる医療・介護などの支援が行き届き、社会基盤の整備、そして命を守る意識・体制の強化をもって、安全・安心・快適な暮らしを保っていく</p> <p>[健康・福祉 重要課題] [交通(移動手段) 重要課題] [社会インフラ 重要課題] [環境 重要課題] [防災・減災 重要課題] [市民の想い] の内容から整理</p>	<p>(4) <b>多様な産業が活力を生むまち</b></p> <p>…若い世代や多様な人材に選ばれるために、多様な産業の展開や働きやすい職場環境づくりの取組により、「ここで働きたい」「また戻って来たい」と働く人を呼び込み、まちの活力を上げていく</p> <p>[人口 重要課題] [産業・就業 重要課題] の内容から整理</p>
<p>(5) <b>「三原らしさ」を存分に活かし、人々が交流するまち</b></p> <p>…三原の地には、素晴らしい文化や自然、都市機能などの「三原らしさ」があり、それらの価値を高め、普遍的な資源として活かしていくことで、人々を呼び込み、活気あるまちをめざしていく</p> <p>[人口 重要課題] の内容から整理</p>	